

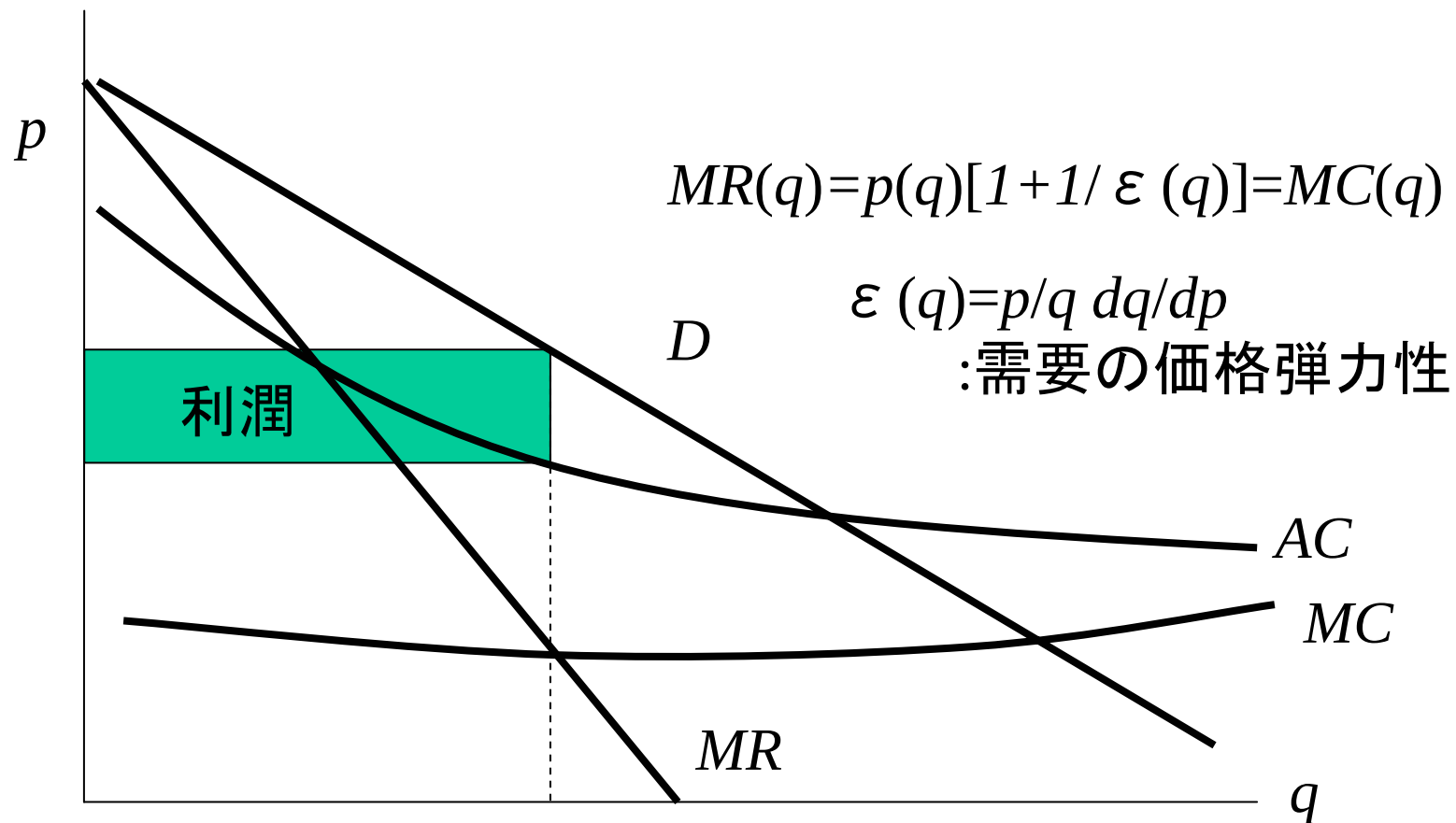
自然独占

松島格也

kakuya@psa.mbox.media.kyoto-u.ac.jp

Rm.331

独占市場

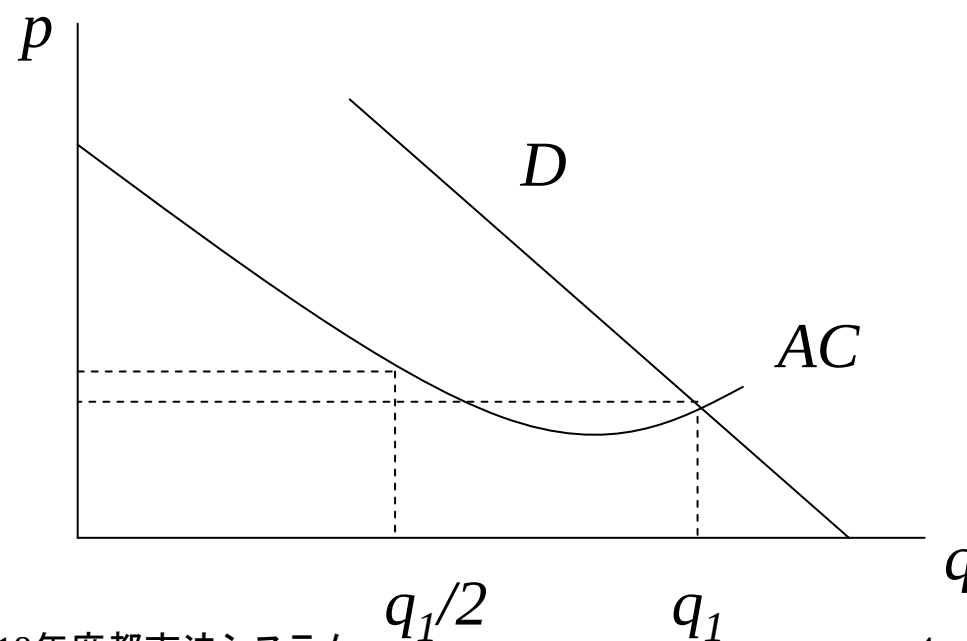


自然独占とは？

- 特定の産業が独占的構造になる技術的・経済的理由を持つことを**自然独占性**を持つという.
- その要因
 - 規模の経済: 供給規模が拡大するにつれて、財・サービス1単位あたりの費用である平均費用が低下する
 - 範囲の経済: ある企業が複数の種類の財・サービスを生産するときに必要とされるその企業の費用の合計が、個々の財・サービスを単独で生産するときの費用の合計に比べて小さい

規模の経済性

- 固定費用の存在
- 生産の平均費用が産出量の拡大に連れて減少する

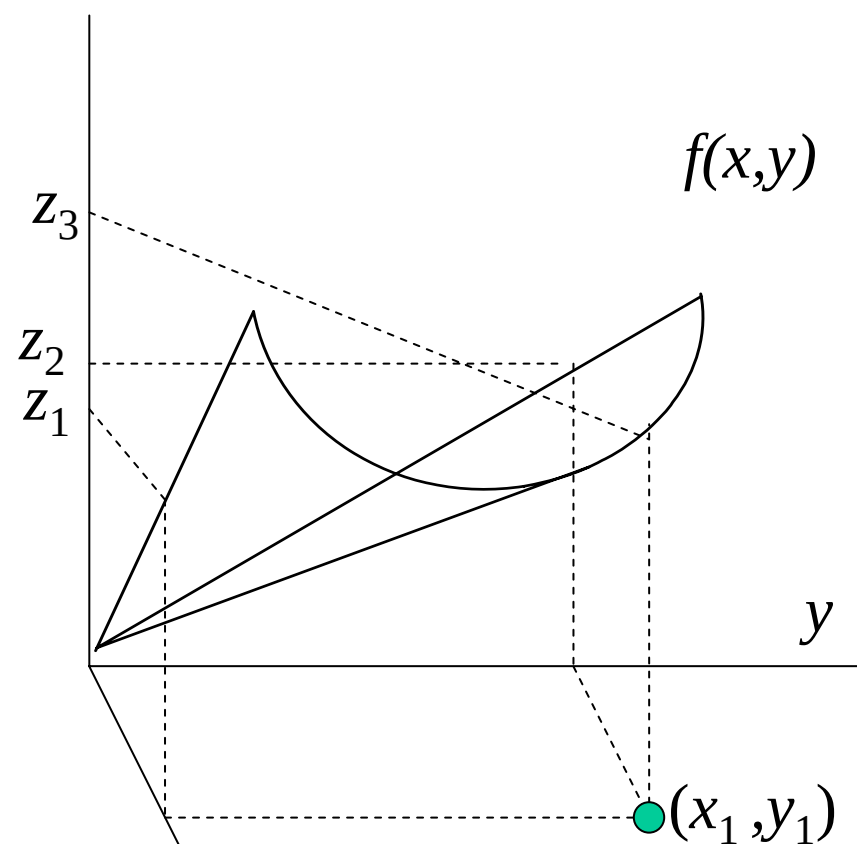


サービスのネットワーク性

- 電気, ガス, 水道, 通信
 - 総費用に対する固定費用の比率が大きい
 - 需要が多いほど規模の経済性を享受
- cf. ネットワーク外部経済性
 - 需要の増加に伴って幾何級数的にサービス水準が上昇

範囲の経済

- 複数財を生産するときの共同設備の存在
- $f(x,y) < f(x,0) + f(0,y)$



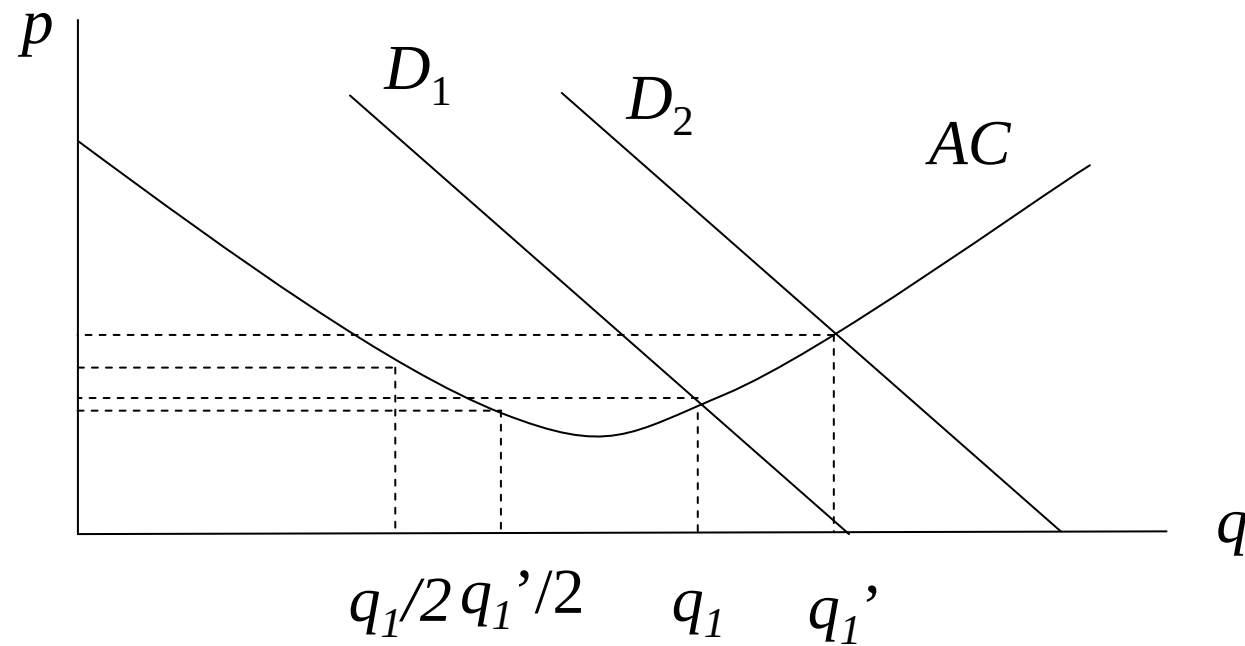
劣加法性

- 複数の生産物を複数の企業が生産するよりも、単一の企業が生産する方が安い場合、費用曲線は劣加法性を示すという
- 規模の経済と範囲の経済を一度に含む概念

独占が維持される経済的理由

- 生産設備の固定投資額を増加させるために新規参入が困難
- 固定資本は長期にわたって使用され、他へ転用が困難
 - 固定費用の埋没性(サunkコスト)

自然独占崩壊のメカニズム

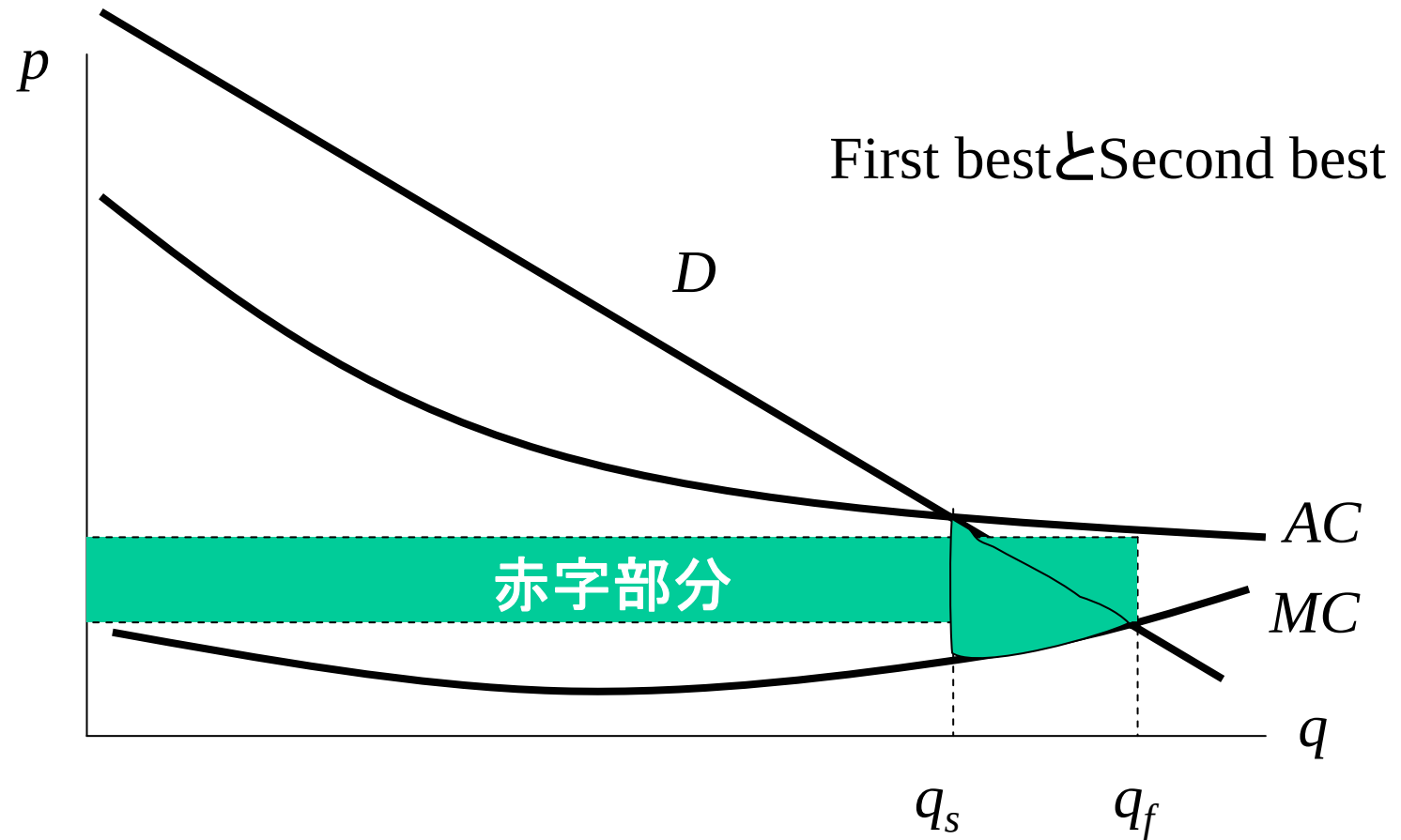


技術革新や新製品・サービスの開発

規制産業の産業特性

	ネットワーク 供給システム	費用の 劣加法性	費用の 埋没性	代替競争	自然独占 性
公益事業					
電気(発電)	×	○	◎	—○	○
(配電)	◎	◎	◎	—△	◎
都市ガス(生産)	×	○	◎	—○	○
(配送)	◎	◎	○	—◎	○
熱供給	◎	○	△	—◎	○
水道	◎	◎	◎	—△	◎
通信・放送					
郵便	◎	△	△	—○	○
電気通信第1種	◎(地域内)	◎	◎	—○	◎
電気通信第2種	○	△	△	—○	○
放送(無線)	×	○	△	—○	△
(有線)	◎	○	△	—◎	○
運輸					
鉄道	○	◎	◎	—◎	○
国内航空	○	○	△	—◎	○
国内海運	○	△	△	—◎	△
トラック	△	△	△	—◎	△
バス	△	△	△	—◎	△
タクシー・ハイヤー	×	△	△	—◎	△
金融					
銀行	○	○	×	—○	△
証券	○	○	×	—○	△
生命保険	○	○	×	—○	△
損害保険	○	○	×	—△	△

規模の経済性と厚生



価格規制とインセンティブ規制

- 費用の劣加法性がある産業
 - 独占的供給の方が費用効率的
 - 独占的価格設定のもとでは資源配分が非効率
→ 価格規制の必要性
- 独占的供給権の付与や価格規制は企業の内部効率性を高めるインセンティブを損なう可能性
 - インセンティブ規制の必要性
 - 競争の刺激を与える
 - 生産効率向上の成果としての報酬を与える

破滅的競争

- 複数企業が存在する場合，販売量増大を目指して価格低下競争を展開する可能性
 - － サービスの同質性
- 価格競争の結果，全ての企業が市場から退出し，サービスが全く提供されなくなる可能性 → 破滅的競争